

平成20年度第4回 経営協議会議事要録

日 時 平成20年12月8日（月）14：00～16：15

場 所 事務局第1会議室

欠席者 上月委員、室伏委員、田代委員、神永委員、中島委員

配付資料

- ・ 平成20年度第3回議事要録（案）
- 1. 平成20年度茨城大学補正予算（第二次）について（案）
- 2. 平成21年度予算編成における検討課題（案）
- 3. 国立大学法人茨城大学の財政見通しについて
- 4. 茨城県と国立大学法人茨城大学との連携に関する協定書
- 5. 平成19年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）
- 6. 平成20年度国立大学法人施設整備費補助金の承認について（補正予算）
- 7. KDDI株式会社所有施設の取得について
- 8. 平成20年度資金管理計画について

議 事 概 要

I 議事要録の確認

平成20年度第3回経営協議会議事要録について、原案のとおり確認された。

II 審議事項

1 平成20年度茨城大学補正予算（第二次）について

学長から、本学の平成20年度予算について、収入予算における授業料収入の見直し、支出予算における人件費所要額の見直し及び緊急を要する特別事業費に充てるため、予算の補正を行いたいので審議願いたい旨提案があり、さらに、長谷川理事から、配付資料1に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

委員から出された主な意見は次のとおり。

- 休退学の学生数について減少を見込んでいるが、減少理由を伺いたい。
- 人件費で241百万円の執行残を見込んでいるが、どのような要因でこれだけの執行残が発生することになったのか具体的に伺いたい。

2 平成21年度予算編成における検討課題について

学長から、1月からの予算編成を円滑に行うため、平成21年度予算編成における検討課題について審議願いたい旨提案があり、さらに、長谷川理事から、配付資料2に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

委員から出された主な意見は次のとおり。

- ものづくり教育研究支援ラボの整備が進められているが、私が見る限り工学部の中にはまだまだ空き教室があって、そこもラボとして活用すればベンチャー企業が相当出てくるのではないかと考えている。そこに力を入れていただければ、日立市も活性化するのではないかと考える。
- 国からの運営費交付金が減額されていく中で、外部資金、自主財源のようなものをこれからどう確保していくかが大事だと思う。大学に集積した財産を上手く活用して、技術的な研究成果なども含めて、それが一つの売りになって民間から資金が流れてくるような働きかけをして、自主財源の積み上げをしていかないと財政状況を改善することは難しいと思うので、力を入れて取組んで欲しい。
- 人件費の比率の高さと削減の必要性はこれまで経営協議会でも大半のメンバーが指摘してきた事項であり、人件費の削減に向けた大学の取組みは積極的に評価したい。

III 討議事項

1 国立大学法人茨城大学財政見直しについて

学長から、本学における財政見直しについて意見を伺いたい旨発言があり、さらに、長谷川理事から、不確定要素のあることを前提に第2期中期目標期間に向けた財政展望等の内容について、配付資料3に基づき説明があり、意見交換が行われた。

委員から出された主な意見は次のとおり。

- 一番大事なことは、外部資金をいかに獲得してくるかである。平成21年度の予算編成においても、そのために必要な資金を増やしてでも、外部資金の獲得率を上げていく取組みをされた方がいいのではないかと考える。
- 年齢別の人口構成ははっきりしており、今後学生が減少していくことは確実である。現在でも定員割れする大学が出てきている。そういう状況で、長期的に考えて学生数の減少にどのように対応しようと考えているのか。あるいは大学が機能を十分に発揮するために、教育内容の特化などの方向も含めて将来像をどう考えているのか。
- 1年ほど前に地方国立大学がそれぞれの地域の経済や雇用に及ぼす影響という記事があり、大変成果を上げているということであった。そういうことも踏まえて大学の規模を維持できるようにしてほしい。
- 今後とも将来的に人件費の削減、教員数の削減などの方向に行かざるを得ない中で、学部・学科の統合・再編についても、時代の変化に合わせてやっていかなければ、長い目で財政状況や教育効果を考えると難しいのではないかと考える。そろそろ検討する時期にきているのではないかと考える。
- 市町村合併の時のように、運営費交付金を削減していくと大学も合併せざるを得なくなるのではないかと考えた。良くやっている大学には交付金を増やし、そうではない大学には交付金を減らすという、飴と鞭の政策を出してくるのではないかと素人目には思う。

IV 報告事項

1 茨城県との包括協定の締結について

学長から、茨城県と連携協力に関する包括協定を締結したので報告したい旨発言があり、さらに、宇野理事から、内容について配付資料4に基づき報告があった。

2 平成19事業年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

学長から、10月9日付けで国立大学法人評価委員会から平成19年度に係る業務の実績に関する評価の結果について通知があったので報告したい旨発言があり、さらに、田切学長特別補佐（評価室長）から、内容について配付資料5に基づき報告があった。

3 平成20年度国立大学法人施設整備費補助金の承認について

学長から、文部科学省より国立大学法人の設備整備について、財務大臣から実施計画の承認があった旨通知があったので報告したい旨発言があり、さらに、長谷川理事から、施設整備費補助事業の内容について、配付資料6に基づき報告があった。

また、松田理事から、議題に関連して本学農学部が進めているスイートソルガムを活用した研究内容について、資料に基づき説明があった。

4 KDDI株式会社所有施設の取得について

学長から、KDDI株式会社が所有している旧茨城衛星通信所の衛星通信館について、本学が取得して共同研究、地域連携に活用することとしたので報告したい旨発言があり、さらに、横沢学長特別補佐から、内容について配付資料7に基づき報告があった。

5 平成20年度茨城大学資金管理計画について

財務課長から、平成20年度資金管理計画（9月分）について、配付資料8に基づき報告があった。

6 その他

(1) 経営協議会で討議する個別テーマについて

学長から、次回経営協議会において討議する個別テーマについて、「地域振興、社会貢献」としたい旨発言があった。

(2) 経営協議会会議資料の公開について

学長から、経営協議会会議資料の公開について、確認があった。

○ 次回経営協議会 1月26日（月）を予定